

管機連 Daily News

2021年11月19日(金)

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆経済対策の財政支出55.7兆円、給付金など膨張 19日決定

・政府が19日に閣議決定する経済対策の規模が財政支出ベースで55.7兆円程度となったことが18日、分かった。新型コロナウイルス禍を受けて2020年に編成した経済対策を超えて過去最大規模となる。呼び込む民間資金を加えた事業規模は78.9兆円に上る。岸田文雄政権が掲げる分配政策の目玉として家計や企業向けの給付が膨らんだ。

◆「Go Toトラベル」GW後も継続、補助上限1万1000円

・政府は国内旅行の需要喚起策「Go Toトラベル」を2022年1月中旬にも再開し、4月下旬からの大型連休後も継続する調整に入った。補助上限は1月には1万3000円相当とし、連休後に1万1000円相当に下げる。政府が19日にまとめる経済対策の最終案に明記した。政府は新型コロナウイルスの感染状況を見極めて、再開時期やその後の継続期間を最終判断する。

◆職場接種3回目もモデルナ製、厚労省方針 22年3月開始

・厚生労働省は新型コロナウイルスワクチンの3回目の職場接種について、2回目までと同様に米モデルナ製を使う方針を示した。企業には接種1回あたり約2000円の財政支援も継続するなど、2回目までの枠組みを踏襲する。職場接種は2022年3月から始める予定で、年明けから始まる自治体による高齢者や一般への接種を補完する。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆蓄電池戦略、官民で連携 協議会が初会合

・経済産業省は18日、蓄電池産業の戦略を検討する官民協議会の初会合を開いた。電気自動車などの電動車や再生可能エネルギーの活用拡大で、蓄電池の需要は世界で高まっている。材料資源や国内生産拠点の確保といったサプライチェーン(供給・調達網)の課題解決に向けて官民で連携する。電池や部材メーカーのほか、関連業界団体や有識者らが参加した。

◆大和ハウス、電気工事など営業停止処分 資格不正取得で

・大和ハウス工業は、国土交通省近畿地方整備局から建設業法に基づき、電気工事と水道などの管工事で22日間の営業停止処分を受けたと発表した。同社では、実務経験の足りない技術者が工事監督の国家資格「施工管理技士」を不正に取得していた問題が2019年に発覚。該当する技術者の一部を現場に配置したことが同法に違反するため。

◆LIXIL、ショールーム東京でAIロボット接客サービスの実証実験を実施

・LIXILはLIXIL ショールーム東京にて、ナイトショールームの時間帯(18時から20時)、デジタル技術を活用した顧客体験(カスタマーエクスペリエンス)の向上を目的に、接客サービスを行うAIロボットとネットワークカメラを利用した顧客行動分析システムによる実証実験を実施。ロボットによる「リシェル SI」の商品説明やツアーガイドを体験できる。

《 注目商品 》

■ダイキン工業、「ダイキンエコキュート」の2022年モデル

・『ダイキンエコキュート』の2022年モデル(W型)を12月1日に発売。スマートフォンアプリとの連携で利便性を向上させたほか、業界最高の給湯圧力でシャワーや洗い物を快適にする。帰宅途中など外出先や、家の中の離れた場所から浴槽の湯はりや追いだきができ、節水や節電行動をサポート。



■YKK AP、インテリアドアシリーズ「famitto(ファミット)」をリニューアル

・インテリアドアシリーズ「famitto(ファミット)」に、天然木を貼った「突板タイプ」と多彩な木目柄を揃えた「木調タイプ」を加え、扉デザインとアイテムを拡充し、12月6日からリニューアル発売。豊富な扉デザインと壁との一体感を高める枠見付スリム枠の組み合わせで、理想のスタイリングを実現。



■ポッシュ アプリでカスタマイズできるコードレス工具

・プロフェッショナル向けリチウムイオン18Vコードレス電動工具シリーズから、コードレスインパクトドライバーとコードレスインパクトレンチを発売。210N・mの高締付トルクの作業性と、スマホアプリを使った「コネクト機能」により使用シーンに合わせてスピードやモードをカスタマイズできる。

